

上田市わがまち魅力アップ応援事業

実績報告書

松田 巖 氏 による

上田市わがまち魅力アップ応援事業 実績報告書

令和 3 年 1 月 5 日

(報告先) 上 田 市 長

団体名 諏訪形誌刊行委員会

代表者 住 所 上田市諏訪形 800-1

氏 名 北沢 伴康

電話番号 0268-22-6818



令和 2 年 4 月 8 日付 02 市協第 27 号にて決定のあった上田市わがまち魅力アップ応援事業が次のとおり完了したので、その結果を報告します。

事業名	諏訪形誌刊行事業		
事業の目的及び概要	・諏訪形自治会の歴史と文化資源等を調査し、文書として残すことを目的とする。 ・諏訪形は昭和 30 年代から住宅造成が進み居住人口が増加する一方で、コミュニケーション活動が低下し、自治会の行事や祭事への参加・関心が低下している。 ・諏訪形は平安時代の「倭名類聚鈔」にこの地方は須波郷という場があったと記されており、古くから脈々と続く歴史を学び伝える事により、住民がその価値を再認識し、地域への愛着や一体感を醸成する。又、諏訪形誌刊行後には、その成果を語り合い住民相互の緊密な交流の促進を図る。		
事業内容	・グラビア（写真）の収集とレイアウト及び年表の精査校正。 ・印刷業者に原稿提出・・・グラブリ受領・・・印刷業者との再校正。 ・令和 2 年 10 月に諏訪形誌を発刊。 ・諏訪形誌発刊記念式典と記念講演会を開催。		
事業の成果、今後の取り組みなど	・令和 2 年度は、校正部会が頻繁に開催され、印刷会社に 4 月以降原稿を順次提出。 ・予定通り 10 月 20 日（火）に発刊し、同日「受け入れ式」を実施。 ・諏訪形誌総会を 6 月 21 日に実施し、歴史講演会も実施した。・・・（資料：8～9 頁） ・諏訪形誌発刊記念式典を 12 月 19 日（土）に実施⇒歴史講演会も実施。		
苦勞した点 工夫した点	・印刷会社のグラブリに対する修正点が徹底できずに再三再四丁寧に校正した。 ・自治会員への配布について、自治会と刊行委員会が協力し落ちが無い様確認した。 ・諏訪形誌が完成したので、6 年目以降の活動について構想が出来た（別紙 B）		
活動の経過	・2 月 6 日上田市わがまち魅力アップ応援事業選考申込。 ・4 月 8 日の交付決定後、下記日程で編集作業等活動に入った。		
事業実施期間	令和 2 年 4 月 8 日 から 令和 2 年 12 月 27 まで		
交付確定を受けたい額	1,850,000 円	交付決定額	1,850,000 円
当初指摘事項に対する対応	(1) 地域以外の方も閲覧できるよう配慮して欲しい・・・（別紙 A）で対応。 (2) 地域全体で刊行を祝い今後につながる事業になるよう期待する・・・（別紙 B）で対応。		
土地使用、購入品・成果品に対する報告	・特になし		
代表者コメント	・地域の居住人口の増加に伴い、地域への愛着に対する関心のなさや住民同士の意志疎通の薄さ等を是正するための一助として諏訪形誌の発行を試み平成 28 年から編集の準備に着手し、以来 5 年の年月をかけ今般ようやく発刊を迎えました。 - この間、市当局をはじめ多くの自治会関係者のご協力の賜物と深く感謝をするしだいです。今後「諏訪形誌」を通して、明るい街づくりと当初の目的が達成できればと願っています。		

添付資料

- ① 収支決算書（別紙） ② 事業内容がわかる資料（写真、参考資料、新聞記事など）
③ 領収書の写し

※ 事例集（冊子）に載ることを想定し、文章を考えていただければそのまま転記が可能です。
ただし、冊子の作成時、再度照会します。

上田市わがまち魅力アップ応援事業 令和 2 年度 収支決算書

団体名 諏訪形誌刊行委員会

※欄は記入不要

事業名		諏訪形誌刊行事業			
	科目	金額(円)	積算内訳		
収入	参加者負担金				
	寄付金				
	当該補助金	1,850,000			
	自己資金	333,000			
	合計	2,183,000			
支出	原材料費				
	消耗品費				
	謝金				
	旅費・交通費				
	使用料及び賃借料	A			
	印刷製本費	2,183,000	諏訪形誌印刷製本代(750冊)		
	通信費				
	燃料費				
	保険料				
	委託費	B	見積額	補助上限額(F×1/3)	委託費・備品購入費の内訳は別紙へ
		0	D	727,667	※補助対象額 G の算定では B か D の金額の低い方を使用
	備品購入費	C	見積額	(C)のうち補助希望額	(E)のうち補助上限額
			E		※
	小計	F	A+B+C	補助対象額	確定後の補助対象額
		2,183,000	G	A+B(又はD)+E	※
補助対象外経費	会議費相当の経費		H	(G)のうち補助希望額(1,000円未満切捨)	会議費(G×5%以内)(1,000未満切捨)
	その他(コピー代)			1,850,000	
	その他(お礼、旅費)		補助金合計額(H+I)		補助金累計額
	小計	J	0	1,850,000	※
	総事業費(F+J)	2,183,000			上限(200万円)

※ 補助対象経費に係る全ての物品について、領収書の原本及び写しを提出して下さい。

※ 収支決算書の項目と領収書の物品の対応関係がわかるようにして下さい。

わがまち魅力アップ応援事業 日計帳

番号	月日	内容	収入	支出	残高	支払先等	消耗品	謝金	使用料及び賃借料	印刷製本費
	4月8日	自己資金	333,000		333,000					
	8月31日	上田市わがまち魅力アップ応援事業補助金	1,480,000		1,813,000					
1	10月23日	諏訪形誌印刷製本代(750冊)		2,183,000	(370,000)	諏アオヤギ印刷				2,183,000
	合計		1,813,000	2,183,000	(370,000)		0	0	0	2,183,000

No.	1
-----	---

上田市わがまち魅力アップ応援事業 領収書等証拠書類

年 度：令和2年度補助事業

団体名：諏訪形誌刊行委員会

事業名：諏訪形誌刊行事業

品 名	印刷製本費
支 払 先	株式会社アオヤギ印刷
使用目的・内容	諏訪形誌印刷製本

領収書・受領書のチェック項目

チェック項目	日 付 (交付決定日以降)	宛 名 (団体名)	相手方 住所・氏名	相手方押印	内訳(明細) の記載
確 認 欄	✓	✓	✓	✓	✓

諏訪形誌刊行委員会 様

令和 2 年 10 月 23 日

領 収 書

金額	72183000	円	
----	----------	---	--

※お取り引きいただき誠にありがとうございます。上記の金額正に領収いたしました。

諏訪形誌制作代 512

※本領収金額の内、消費税分は

金		円	
---	--	---	--

01 現金・02 小切手・03 手形・04 相殺

株式会社 アオヤギ印刷

代表取締役 青柳 貴之

長野県上田市住吉558

Tel(0268)23-5588 Fax(0268)23-6266

〒386-0032

長野県 上田市 諏訪形

納 品 書

アオヤキ印刷

〒386-0002 長野県上田市住吉558-11

☎(0266)23-5589 FAX (0266)22-6466

諏訪形誌刊行委員会 御中

令和 2 年 10 月 20 日

品 名	数 量	単 価	金 額	備 考
記念誌 諏訪形誌 B5 カラー共316P	750冊		1,930,000	
消 費 税 10%			193,000	
校正 上平 徳男			60,000	
合 計			2,183,000	

毎々御引立に預り厚く御礼申し上げます。

〒386-0032

長野県 上田市 諏訪形

請 求 書

アオヤキ印刷

〒386-0002 長野県上田市住吉558-11

☎(0266)23-5589 FAX (0266)22-6466

諏訪形誌刊行委員会 御中

令和 2 年 10 月 20 日

品 名	数 量	単 価	金 額	備 考
記念誌 諏訪形誌 B5 カラー共316P	750冊		1,930,000	
消 費 税 10%			193,000	
校正 上平 徳男			60,000	
合 計			2,183,000	

毎々御引立に預り厚く御礼申し上げます。

平成2年12月27日

(報告先) 上 田 市 長

諏訪形誌刊行委員会
委員長 北沢 伴康

令和2年度 諏訪形誌刊行委員会事業実績報告書

当委員会は平成28年度にスタートし、以後5年間順調に事業を積み重ね令和2年10月に「諏訪形誌」を発刊いたしました。

この間自治会と連携を図り予定通りに諏訪形誌刊行事業が終了いたしましたので、最終年度の令和2年度事業(4月1日～12月末日)について報告いたします。

活動内容

- 1 令和2年4月8日(水)「上田市わがまち魅力アップ応援事業」令和2年度分補助金185万円交付決定通知書受領。
- 2 自治会と諏訪形誌刊行委員会事務局との打ち合わせ
期 日 : 令和2年4月6日
出席者 : 自治会＝細川自治会長・小林副自治会長
諏訪形誌事務局＝宮下事務局長・小林事務局次長・松田事務局次長

内 容

- ① 発刊費用について
 - ・自治会からの支出について、「補助金を超える不足額」と「立替分」は自治会の予備費から支出を行う。
- (2) 上田市魅力アップ応援事業 補助金の交付時期は・・・
 - ① 市の補助金は総額200万円であるが、今までに15万円交付されているので令和2年度は185万円となる。
 - ② 185万円の「概算払い」額は148万円(185万円の80%)となるが10月上旬までに交付される様に手続きを行う。
- (3) 自治会員全員に1冊無料で配布する。
- (4) 発刊部数、750冊の根拠は・・・
 - ① 配布先(予定)について説明(自治会員宅640冊・その他、外部自治会・小中学校、保育園、市役所関係(図書館、公民館等)及び編集作業に協力頂いた団体や個人に対して各1冊贈呈・自治会保管分及び購入希望者分など。
- (5) 諏訪形誌に住宅地図をつけないでほしい。

① 予算及び個人情報の関係で住宅地図は添付しない事にした。

(6) 発行部数に対する単価を知りたい・・・

① 部数によって単価は大きく変わらない。

② 1冊の単価は2,910円 (2,183,000÷750冊)

(7) 諏訪形誌 刊行委員会としての検討事項

① 形誌刊行委員会総会は6月21日(日)午後4時～

② 発刊記念式典の実施について・・・年内に行う。

③ 今年度の講演会について

・6月21(日) 講師：市博物館 滝澤館長

・秋は11月を予定 講師：市博物館 元館長川上様

④ アオヤギ印刷 への支払いは10月末の納品後とする。

3 諏訪形誌刊行委員会 役員会(諏訪形誌発刊について)

期 日 : 令和2年4月6日(月)

出席者 : 北沢委員長、今井相談役、柳沢副委員長、稲垣副委員長、宮下事務局
局長、小林事務局次長、松田事務局次長

欠席者 : 太田編集長兼会計

内 容

(1) 令和2年度諏訪形誌 関連予算が「自治会の定期総会の予算書」に計上されていなかったもので総会前の1月23日(木)に自治会3役に申し入れた件を報告。

(2) 自治会からの質問事項について

① 発刊に関する総費用、補助金、等4月6日の自治会と事務局との会議内容について報告し、了解を得る。

(3) 諏訪形誌 発刊部数750部の配布先について打ち合わせを行う。

配布先(各1冊贈呈)

・自治会員宅(各1冊) 640冊

・各自治会=13冊(城下自治会8冊、染屋、真田、伊那諏訪形区、上田原、神畑、各1冊)

・小中学校=3冊(城下小、四中、南小)

・保育園 =2冊(城下、三好町)

・図書館 =4冊(創造館、市の図書館、駅前情報ライブラリー、真田)

・公民館 =1冊(城南公民館)

・市役所 =1冊(上田市)

・御礼分=15冊(編集作業にご協力頂いた分として)

・諏訪形自治会 保管分=71冊

(4) 諏訪形誌単価=1冊 2,910円(アオヤギ印刷見積額218.3万円÷750部)

- ③ 自治会員全員に1冊無料で配布するが、1冊以上希望される場合は有償とし、1冊＝1,000円とする。

(5) 住宅地図は諏訪形誌に添付しない。

4 諏訪形誌 副委員長と事務局会議

期 日 : 5月29日(水)

出席者 : 柳沢副委員長、小林事務局次長、松田事務局次長

打合せ内容

- (1) 経過報告について
- (2) 今後の事業計画について
- (3) 総会次第について

5 諏訪形誌 副委員長と事務局会議

期 日 : 6月2日(火)

出席者 : 柳沢副委員長、小林事務局次長、笠井事務局次長、松田事務局次長

打合せ内容

- (1) 総会通知の確認と配布担当について
- (2) 今年の総会は「コロナ感染防止」のため役員のみで行う。
- (3) 総会後の「講演会」について
 - ・講師による講演資料100部のコピーは伸和印刷に依頼(柳沢副委員長)
 - ・講師への対応・・・北沢委員長・宮下事務局長とする。
- (4) 総会の事業報告と事業計画(案)について
 - ・会計監査を6月6日で監査員と調整する。
- (5) 総会事前打ち合わせ(事業報告・事業計画・会計報告・予算計画について
6月15日の週に、宮下事務局長に都合を確認して決める。
- (6) 資料印刷は6月18日頃とする。
- (7) 報告書は松田事務局次長が作成し、事業計画書は柳沢副委員長が作成する。

6 6月6日(土) 午前9時30分～会計監査をうけた。

- ・監査員：田中貴司氏と前沢卓氏
- ・会計 : 太田久 氏 ・立会人：小林久敏 事務局次長

7 事務局会議

期 日 : 6月19日(金) 小林・松田・笠井 各事務局次長で総会用資料をセット(80部)等総会の準備をした。

8 令和2年度 諏訪形誌刊行委員会 「役員総会」及び「講演会」を実施。

期 日：6月21日（日）

*今年は新型コロナウイルス感染防止のため役員による総会とした。

- (1) 令和元年度事業報告及び会計決算の承認について
- (2) 令和2年度新役員の承認について
- (3) 令和2年度事業計画（案）及び会計予算（案）について
- (4) 諏訪形誌発刊記念式典並びに記念講演会について

*総会出席者：20人

歴史講演会

- (1) 演 題 「諏訪形と千曲川左岸地域の歴史」
- (2) 講 師 上田市立博物館 館長 滝澤 正幸 氏

*出席者：24人（20＋講師・報道関係・他2人）

9 上田市わがまち魅力アップ応援事業」の件で「市民参加・協働推進課」訪問

期 日：7月17日（金）

訪問者：小林事務局次長、松田事務局次長

市対応者：協働推進課 片山様

要 件

- (1) 「上田市わがまち魅力アップ応援事業」事例集の記事を提出。
- (2) 提出した写真は、後日返却される。
- (3) 補助金の概算払いについて説明をうけた。
 - ・8月に185万円の80%（148万円）の申請を行うと伝えた。
 - ・補助金交付は、毎月ゼロの付く日（10日、20日、30日）申請書は、4日前までに提出する事。

10 補助金概算払い請求書（148万円）を市の「市民参加・協働推進課」へ提出

期 日：8月25日（火）

提出者：松田事務局次長

11 自治会役員・正副委員長・事務局会議

期 日：10月10日（土）

出席者：自治会＝細川自治会長・小林副会長・金井総務部長

刊行委員会＝北沢委員長・柳澤副委員長・宮下事務局長・小林事務局次長・笠井事務局次長・松田事務局次長

要 件

- (1) 諏訪形誌の配布等に係る件
 - ① 諏訪形誌納品に至るまでの経過説明・・・（柳澤副委員長が説明）
 - ② 業者への支払い、市の補助金及び諏訪形誌発刊に関する費用等については以下のとおり。

項 目	金 額	備 考
A アオヤギ 印刷への支払額	218.3 万円	
B 市の補助金 (令和 2 年度分)	185 万円	
C 不足金 (A-B)	33.3 万円	自治会より補助金

* 市の補助金 185 万円は以下の要領で交付される。

(1) 概算払い 80%	148 万円	8 月 29 日受領済
(2) 残額 20%	37 万円 (自治会立替依頼)	令和 2 年度の報告書 とアオヤギの領収書 等提出後交付され る。

★ アオヤギ印刷へ支払い時、自治会の補助金+立替分・・・合計 70.3 万円

★ 補助金残額 20%分 (37 万円) は市から交付後速やかに自治会に返却する。

(2) 諏訪形誌発刊後の活動について

① 稲垣副委員長から、発刊後の活動が必要なため、「諏訪形まちづくり協議会」内の組織として諏訪形誌に掲載の名所等約 13 箇所を散策するなどの活動を行なうとの提案があり全員賛成。

② 諏訪形誌刊行委員会の解散について

・令和 3 年 3 月末、関連事業すべて終了後に解散する。

(3) 配布について

- ① 自治会員宅=10/25~11/1 日に自治会協議員が各隣組長宅に届ける⇒11/8 日までに隣組内各家庭に配布する。
- ② アパート入居者宅=刊行委員会役員が希望者に配布する。
- ③ 有料配布=上記①と②の配布後に行う (領収書発行・販売記録必要)

12 諏訪形誌納入・受け入れ式について

日 時 : 11 月 20 日 (金) 午前 9 時 30 分納入され受け入れ式を実施

出席者 : 15 人 (14 人+アオヤギ印刷)

納入部数 = 753 冊 (発注分 750 冊+3 冊)

受け入れ式内容

(1) 挨拶 (御礼の言葉)

① 諏訪形誌刊行委員会 委員長 北沢 伴康

② 諏訪形自治会 会長 細川 義雄

(2) 御礼の言葉 (株)アオヤギ印刷 取締役 青柳 順一郎 様

(3) 記念撮影

1 3 諏訪形誌刊行委員会役員会

期 日 : 11月11日(水)

出席者 : 北沢委員長・今井相談役・柳澤副委員長・稲垣副委員長・太田編集
長兼会計)

宮下事務局長・小林事務局次長・笠井事務局次長・松田事務局次長

内 容

(1) 諏訪形誌発刊後の活動について・・・稲垣副委員長より

- ① 諏訪形誌デジタル版作成とDVDでの配布
- ② 諏訪形誌デジタル版のWeb上での公開
- ③ 諏訪形誌刊行委員会の組織について(解散後⇒まちづくり協議会内の組織として活動)・・・名称は「諏訪形誌活用委員会」

(2) 諏訪形誌の配布先(贈呈分)について・・・柳澤副委員長より説明

- ① 上田市関係(学校・市長・図書館教育委員会等)・・・16冊
- ② 外部自治会関係・・・・・・・・・・・・・13冊
- ③ 有効自治会・・・・・・・・・・・・・2冊
- ④ 事業所等・・・・・・・・・・・・・9冊
- ⑤ 長野県関係・・・・・・・・・・・・・2冊
- ⑥ 個人+市外個人・・・・・・・・・・・・・16冊

11月11日現在 合計=58冊

1 4 土屋市長訪問(諏訪形誌 謹呈・お礼)

日 時 : 令和2年11月26日(木) 午後1時30分～ 市役所

出席者 : 市役所=市長・城下部長・職員5人・・・計7人

諏訪形=北沢委員長・今井相談役・柳澤副委員長・窪田副委員長
徳嵩副委員長・稲垣副委員長・宮下事務局長・小林事務
局次長・松田事務局次長・笠井事務局次長・阿部古文書
解析・・・計11人 報道関係者=数名

- (1) 報告者あいさつ 北沢委員長
- (2) 今後の活動について 稲垣副委員長
- (3) 市長あいさつ 土屋市長
- (4) 記念撮影

1 5 発刊記念式典及び記念講演会の実施

日 時 : 12月19日(土) 午後1時30分～

場 所 : 諏訪形公民館大広間

出 席 : 式典=35人 ⇒ 講演会=34人

< 記念式典 >

(1) あいさつ

① 諏訪形誌刊行委員長 北沢 伴康

② 諏訪形自治会長 細川 義雄

(2) 発刊報告 柳澤副委員長

(3) 感謝状贈呈 (株)アオヤギ印刷 取締役 青柳 順一郎 様

(4) お礼のことば (株)アオヤギ印刷 取締役 青柳 順一郎 様

< 記念講演会 > 午後2時～3時30分

(1) 講師紹介：諏訪形誌刊行委員会副委員長 窪田 善雄

① 講 師：上田市教育委員会生涯学習・文化財課

課長補佐 和根崎 剛 様

② 演 題：諏訪形の縄文から古墳時代

～「諏訪形誌」で地域の魅力を再発見～

(3) 質 疑・・・数件の質問があった。

(4) お礼のことば 諏訪形誌刊行委員会副委員長 稲垣 敦史

*講演資料 講師より「太陽と大地の聖地」の冊子の他、地図を含め2部頂いた。

1.6 校正部会の活動実績・・・詳細は別紙 C

(1) 令和2年4月以降9月まで毎月3～4回、合計20回の校正会議を行なった。

① 印刷業者に原稿を渡し⇒ゲラ刷り受領⇒印刷業社と校正を何回も実施。

② 第一次校正として、6月は校正部員以外にも協力を頂き第1章～第8章について担当を決めて自宅で校正を実施。

③ 第二次校正は8月に実施。

1.7 JA城下店会議室及び自宅での活動実績・・・詳細は別紙 D

上記会議室での作業メンバーは、北沢委員長、柳澤副委員長、笠井事務局次長、阿部古文書解析の4名が主で活動。

(1) 上記会議室での作業は、4月～8月まで合計47日、延べ人数115人

① 作業日は、毎週 月～金曜日午前9時～12時までを基本として実施(5年間)

(2) 上記メンバーによる自宅での作業実績・・・詳細は別紙 E

① 4月＝6日・5月＝4日・10月＝6日 ・合計＝16日・延べ人数＝32人

★ 借用していたJA城下店の会議室内の書類及び箱類を公民館の旧消防庫に移設した(刊行委員会＝6名 自治会＝5名 で実施)

以上

令和2年度

【別紙D】

諏訪形誌刊行委員会 作業実績 JA城下店会議 (編集室)

(当会議室での通常作業員＝北沢委員長・柳澤副委員長・笠井事務局次長・阿部古文書解析)

月別	日	曜日	作業員数	作業実施内容	月別	日	曜日	作業員数	作業実施内容
4月	1	水	3人	原典資料と記述内容の整合剤	5	29	金	3人	原典資料と記述内容の整合剤
	2	木	3	"	小計	14日	/	41人	
	3	金	3	"	6	1	月	2	紙面の割付(写真・図表)
	6	月	3	"		3	水	1	公民館でデジタル版確認
	7	火	3	"		7	日	3	紙面の割付(写真・図表)
	8	水	3	"		11	木	1	"
	9	木	3	"		16	火	1	"
	10	金	3	"		23	火	1	"
	13	月	3	"	小計	6日	/	10人	
	14	火	3	"	7	1	水	1	"
	15	水	3	"		6	月	1	"
	16	木	3	"		14	火	1	"
	20	月	3	"		15	水	3	"
	21	火	3	"		30	木	2	"
	22	水	2	"		31	金	1	"
	23	木	3	"	小計	6日	/	9人	
	24	金	4	"	8	7	金	1	"
	27	月	1	"	小計	1日	/	1人	
	28	火	1	"					
	30	木	1	"	合計	47日	/	115人	
小計	20日	/	54人						
5	7	木	4	"					
	8	金	3	"					
	11	月	3	"					
	12	火	3	"					
	13	水	3	"					
	14	木	3	"					
	18	月	3	"					
	19	火	3	"					
	20	水	2	"					
	21	木	2	"					
	25	月	3	"					
	27	水	3	"					
	28	木	3	"					

令和2年度

諏訪形誌刊行委員会 委員宅での作業実績

(JA城下店会議室メンバー4名中2名・・・笠井事務局次長・阿部古文書解析)

月別	日	曜日	作業人数	作業の実施状況
4	23	木	2人	各団体の役員氏名の調査
	24	金	2	"
	27	月	2	"
	28	火	2	/"
	29	水	2	"
	30	木	2	"
小計	6日	／	12人	"
5	1	金	2	"
	4	月	2	"
	5	火	2	"
	6	水	2	"
小計	4日	／	8人	"
10	9	金	2	"
	22	木	2	"
	23	金	2	"
	24	土	2	"
	25	日	2	"
	28	水	2	"
小計	6日	／	12人	"
合計	16日	／	32人	

令和2年度 校正部会実施状況及びアオヤギ印刷との

【別紙 C】

連絡状況の報告（4月以降について）

令和2年12月20日
校正部会長 照井 正夫

No.	月・日	曜	時間	章・節・事柄	元分量	備考	校 正	印 刷	ゲ ラ
1	4・4	土	9:00～	7章 現代 7節～8節の校正		7章1～3節	○	○	○
2	4・11	土	9:00～	(9節1目スポーツまで)		アオヤギへ	○	○	○
3	4・18	土	9:00～	7章 現代 9節（娯楽～）～10節終			○	○	○
4	4・25	土	9:00～	8章まで全部終了			○	○	○
5	5・2	土	9:00～	グラビア検討会、文化活動の校正			○	○	○
6	5・9	土	午後	巻頭、巻末原稿、グラビア確認		放水訓練	○	○	○
7	5・14	木	16:00～	アオヤギ印刷との打ち合わせ会（公民館） 北沢、太田、稲垣、窪田和、笠井、阿部、柳沢			○	○	○
8	6・21	日	14:00～	第1次ゲラ刷り校正、計画		総会準備前			
9	6・27	土	9:00～	第1次ゲラ刷り校正の打ち合わせ、検討		8、9章全 ゲラ出来			
10									

○ 6・27（土） 第一次校正の分担を次のようにし、各自自宅で進める。

1章・稲垣 2章・稲垣 3章・柳沢 4章、5章・窪田善雄 6章・宮下修身

7章・笠井、阿部、宮下修身、窪田和人、北沢、柳沢、太田、稲垣 8章・徳嵩、笠井、阿部

○ 7・15（水） 第一次校正提出 諏訪形→アオヤギ印刷

相談役、堀越

太田、稲垣、柳沢

○ 8・7（金） 第2校修正成り、受領。（アオヤギ印刷へ）

稲垣、柳沢

○ 8・8（土） 昨日の修正案の確認会。

北沢、稲垣、太田、柳沢

○ 8・17（月） 第二次校正のための精査。

稲垣、柳沢

○ 8・19（水） 第二次校正依頼。結果は8月26日頃になるか？

太田、稲垣、柳沢

- 8・25 (火) アオヤギ、上平さんの校正が住済み、アオヤギへゲラを受領に行く。
柳沢
- 8・27 (木) 修正箇所確認 (終日)
最後の校正にしたい。ゲラ印刷～各位に配布
太田、稲垣、柳沢
- 9・1 (火) アオヤギ印刷へ刷り直しゲラを取りに行く。
稲垣、柳沢
夕刻、校正再打合わせ
太田、稲垣、柳沢
- 9・8 (火) 3人会議―校正部員からの意見集約
(各人43ページ分―北沢、窪田和人、窪田善雄、徳嵩、太田、稲垣、柳沢)
太田、稲垣、柳沢
- 9・11 (金) アオヤギ印刷にて
第5校 60項目修正点を確認。修正点が確実に修正できればゴーサインへ。
相談役、堀越
太田、稲垣、柳沢
- 9・15 (火) アオヤギ印刷へ最終修正ゲラを取りに行く。
柳沢
夕刻、

令和2年12月19日

諏訪形誌発刊経過報告（概略）

～原稿集めから校正まで～ を中心に

1 資料収集分担

平成27年 仮称「諏訪形誌」上梓に係る調査要領の構想（委員長の大梓提示）を出した。そこで資料編纂委員会各部会の分担を決め、調査、原稿収集を始めた。

内容は「諏訪形誌」参照

- ・第1部会～補助金交付団体の事業内容
- ・第2部会～補助金非交付団体の事業内容
- ・第3部会～戦前、戦後の暮らし（衣食住）の状況
- ・第4部会～交通、伝承伝説、文化財に関わるもの
- ・特別部会(1) 自然（地勢、気象）
- ・ " (2) 諏訪形の古代から近代までの歴史
- ・ " (3) 諏訪形を中心にした年表、グラビア等

2 資料収集方法

- (1) 70名余の刊行委員が、各分担の原稿収集（写真を含む）や執筆を行った
 - ・部会の都合にもよるが、平均して月1回原稿を持ち寄って会合をもった
- (2) 写真や記事の収集依頼を、自治会員に、「平成かわら版」（平成27年第25、26号）で行った
 - ・得た情報については、必要に応じて個人宅を訪問し、所蔵品等関係資料の発掘を行った
- (3) JA城下店の会議室を借り、「諏訪形自治会文書資料」等を読み解いてきた
 - ・編纂内容に適合した記録を原稿化した
 - ・約4名がJA城下店を年180日以上詰めた（例：平成31年）
- (4) 市役所、図書館等に出向して、資料調査（例：平成31年、20回）
- (5) 委員長の資料収集と原稿化
 - ① 話者及び口伝による事案等について正確を期するため現地踏査をした（先人たちの足跡を、常日頃探し出す心構えの姿勢が大切）
 - ② 石造文化財の建立年月等について、拓本による調査をした
 - ③ 美術品的文化財について、それぞれの専門の関係機関へ照会し原稿化した（例：飯田市立美術博物館）

- ④ 江戸時代における資料不足に対処するため、既刊の地域誌等から引用し原稿化した

3 編集、校正

- (1) 校正部会（7名）で検討し、更に編集長による校正を加えた
 - ・平成31年は土曜日に月2回平均、令和2年は毎土曜日開催が多かった
- (2) 校正が終わった原稿はアオヤギ印刷に送り、ゲラ刷りが上がると更に校正を加えた
 - ・「て、に、を、は」等細部まで検討してきた
- (3) ゲラ刷りを見ながら再校正をしていると、挿入写真が不足していることがわかってきた。親しみやすい文章にするべく再び写真集めをし、編集に活かそうとしたが幾つかの問題点が出てきた
 - ・著作権、肖像権～例：真田丸の俳優写真 里見弴の挿入写真（雑誌）など市の観光課や文芸春秋社へ問い合わせたが、使用利用については金銭的な問題で解決策には至なかった
 - ・別の関連性のある写真で代用したり、校正部員のイラストで補うようにしたりした
- (4) 編集作業の進捗状況を知ってもらうために、公民館で閲覧会を開催した（令和2年 3月 1週間）

感想欄に【字が小さくて読みづらい、漢字が多くて目が痛くなる】というご意見があった → フォントなど校正作業に活かし、読みやすく親しみやすいように改善してきた
- (5) 編集長、校正部会の構想による会議を随時開催。300頁に収めるために割愛する原稿もあった
 - ① そこで、今後、諏訪形誌デジタル版を作成していき、web上に公開する予定。ここで、紙面の都合などで使用できなかった資料や写真も掲載していく計画
 - ② 本文に載せることができなかった追加的な内容も含ませ、増補的な意味合いを持たせていく → 「諏訪形誌」の本文以上の内容でCDを作る計画

4 アオヤギ印刷との打ち合わせ → 校了、製本へ

後半令和2年のアオヤギ印刷への出向は、4～5月、2回の部分出しを含め、9月までに9回実施した（校正部会）

5 今後の予定

「諏訪形誌」を歩くと題して、講演会や楽しい見学会等を行う

以上

2020・12・20

「諏訪形誌」配布状況

担当 柳澤公一

○10月20日 納入冊子数 750 + 3 (予備) = 753冊

○12月18日現在で区切り

A 無償配布

・自治会員への無償配布	568冊	(当初の予定 585)
・アパート	0	
・自治会 (諏訪形以外)	15	
・教育機関	1	(〃 7)
・図書館	7	
・公共施設	6	(〃 8)
・無償配布 (日本無線、JA など)	7	
・個人 (謹呈)	20	(〃 21)
計	624冊	未配 9

(必要数：未配の9冊を含めて633冊)

B 有償配布 (現在の申込分—必要数)

計 12月18日現在 50冊

・12・19以後の申込分はカウントしてない。

C 現有残部数

753 - 624 - 50 = 79冊

ここから、未配の部数、今後注文のあった有償配布部数を出庫していく

諏訪形誌 無償 (贈呈) 配布先 (12/18 現在の未配布は年内に配布)

4/2

No.	区分	配布先	冊数	概要	当該関係者	方法	配布
1	自治会	諏訪形自治会	1		柳澤	委員会	済み
2	自治会	小牧自治会	1		細川		済み
3	自治会	須川自治会	1		細川		済み
4	自治会	中村自治会	1		細川		済み
5	自治会	朝日ヶ丘自治会	1		細川		済み
6	自治会	三好町自治会	1		細川		済み
7	自治会	御所自治会	1		細川		済み
8	自治会	中之条自治会	1		細川		済み
9	自治会	千曲町自治会	1		細川		済み
10	自治会	染屋自治会	1	地域誌交換返礼	北沢、柳澤		済み
11	自治会	上田原自治会	1	地域誌交換返礼	北沢		済み
12	自治会	神畑自治会	1	入会山の紹介(手塚久美)	北沢		済み
13	自治会	瀬野自治会	1	東山道関係照会	北沢		済み
14	自治会	伊那諏訪形区	1	友好自治会	細川	郵送	済み
15	自治会	真田自治会	1	友好自治会	細川	郵送	済み
16	教育機関	城下保育園	1				
17	教育機関	三好町保育園	1				
18	教育機関	城下小学校	1				
19	教育機関	南小学校	1				
20	教育機関	第二中学校	1				済み
21	教育機関	第四中学校	1				
22	教育機関	上田千曲高等学校	1				
23	図書館	上田創造館	1				済み
24	図書館	上田情報ライブラリー(駅前)	1		小林		済み
25	図書館	上田市立上田図書館	1				済み
26	図書館	上田市立九子図書館	1				済み
27	図書館	上田市立真田図書館	1				済み
28	図書館	武石公民館図書室	1		小林		済み
29	図書館	青木村図書館	1				済み
30	公共施設	上田市長	1				済み
31	公共施設	上田市教育委員会	1				済み
32	公共施設	上田市民参加協働推進課	1	わがまち魅力アップ応援事業担当課	松田		済み
33	公共施設	城南公民館	1		柳澤		済み
34	公共施設	上田上田教育会館	1	上田小泉結古文書目録調査	北沢、柳澤		済み
35	公共施設	上田厚生寮	1		北沢		済み
36	公共施設	学童保育ふれんど	1		柳澤		済み
37	公共施設	上田水道管理事務所	1		北沢		済み
38	無償配布	上田日本無線	1		小林		済み
39	無償配布	シール片山	1		小林		済み
40	無償配布	グループホーム諏訪形	1		今井		済み
41	無償配布	順行寺	1	京山築国の造成	北沢、今井		済み
42	無償配布	JA川辺店	1		宮下し		済み
43	無償配布	JA本所	1		宮下し		済み
44	無償配布	JA青木 片岡さん	1		太田、宮下し		済み
45	個人	樋口種苗(樋口健三)	1	三好町誌借用	今井		済み
46	個人	小林印房(小林仁)	1	三好町誌古文書借用	今井		済み
47	個人	田玉治實	1	アナハイム(看板の御礼)	小林		済み
48	個人	小平千文	1	上田・東御・小泉地域史連絡協議会会長	遠田よ、北沢、柳澤		済み
49	個人	和根崎剛	1		協働推進課、柳澤		済み
50	個人	両角園堂	1	『諏訪形誌』題字揮毫者	北沢、柳澤		済み
51	個人	塚田重(城下小)	1	荒神宮回文碑解説、他	柳澤		済み
52	個人	中澤賢(中之条)	1	編集へのアドバイス等	北沢		済み
53	個人	田玉唯雄(三好町)	1	三好町商店街解説者	北沢		済み
54	個人	平田昭三(中之条)	1	上田電鉄城下駅解説者	小林(保)、北沢		済み
55	個人	田玉秀雄(中村)	1	昭和初期青年会長長田玉三郎の取材	北沢		済み
56	個人	増藤郁男(中村)	1	『中村50周年記念誌』借用	北沢		済み
57	個人	青木正(須川)	1	戦後須川地区の動静解説	手塚(明)、北沢		済み
58	個人	手塚綾子(須川)	1	祖父手塚秀雄原稿協力者	手塚(明)、北沢		済み
59	個人	横林章市(須川)	1	須川池瀬光原稿協力者	手塚(明)		済み
60	個人	花井秀之(御所)	1	諏訪形誌編集協力			
61	個人	阿部勇(丸子)	1	北越戦争他アドバイス	北沢、柳澤		済み
62	個人	田畑和秀	1	第1章『自然』アドバイス	福垣、柳澤		済み
63	個人	山辺邦彦	1	第1章『自然』アドバイス	福垣、柳澤		済み
64	個人	柳澤忠雄(横浜市戸塚区)	1	岳父恒甫氏、区長時の紹介、公民館初稿	北沢、柳澤	郵送	済み
65	個人	飯田久夫(川崎市麻生区)	1	岳父哲氏の区長時の紹介	北沢	郵送	済み
66	アパート	ル・リアン(5B-10)	0	市広報等個別配布あり、世帯数:10			
67	アパート	グランシャリオA(7B-8)	0	市広報等個別配布あり、世帯数:6			
68	アパート	グランシャリオB(7B-8)	0	市広報等個別配布あり、世帯数:4			
69	アパート	グランシャリオII(7B-8)	0	市広報等個別配布あり、世帯数:8			
70	アパート	メゾンシャルマン(8B-9)	0	市広報等個別配布あり、世帯数:8			
71	アパート	イーデッシュ(9B-3)	0	市広報等個別配布あり、世帯数:9			
72	アパート	ラ・マン・諏訪形(6B)	0	市広報等個別配布なし、世帯数:6			
73	アパート	ラ・マン・諏訪形イーストI(1B)	0	市広報等個別配布なし、世帯数:4			
74	アパート	ラ・マン・諏訪形イーストII(1B)	0	市広報等個別配布なし、世帯数:8			
75	アパート	サニーブリーズ(6B-9)	0	市広報等個別配布なし、世帯数:8			
76	アパート	イーデッシュ(3B-11)	0	市広報等個別配布なし、世帯数:6			
77	アパート	メゾン・ラフィネ(6B)	0	市広報等個別配布なし、世帯数:3			
78	アパート	ドリームフォレスト(7B)	0	市広報等個別配布なし、世帯数:8			
79	アパート	グランドフォレスト(7B)	0	市広報等個別配布なし、世帯数:6			

諏訪形誌刊行後の活動について

諏訪形誌刊行委員会

「上田市わがまち魅力アップ応援事業」の補助をいただいた「諏訪形誌」は本年10月、刊行することができました。上田市からの全面的なバックアップに御礼申し上げます。ただ、基本的に諏訪形誌は「刊行して終わり」ではなく「せっかく作ったんだから、これで終わりではなく生かしていこう」というスタンスです。そこで来年以降、以下のような活動を計画しています。

1 ウォーキングマップ「諏訪形誌を歩く」を作成します。

- (1) 現在までに15本の資料を作成済みです。まだ形になっていないアイデアもいくつかあります。
- (2) 地図の配布方法については今後検討していきます。

2 諏訪形誌デジタル版の作成とDVDでの配布を行います。

- (1) この「デジタル版」に含まれているコンテンツは以下のとおりです。

- 諏訪形誌本体(pdf版)

- ウォーキングマップ「諏訪形誌を歩く(pdf版)」

- 写真資料

- ・諏訪形誌で使用したもの(本文中と異なり、カラー写真を中心に掲載)
- ・編集の都合で使用できなかった写真や追加的な写真資料

- 動画資料

- ・伊那市諏訪形との交流会、諏訪形讃歌の演奏(諏訪形童謡クラブ)、祭りの様子など。
- ・一部のコンテンツについては検討中です。
- ・平成18(2006)年に諏訪形公民館の「モデル分館事業」で作成されたVTRも収録します。

- 名簿資料

- ・各団体などの歴代役員一覧
- ・資料提供者一覧
- ・原稿執筆者、編集関係者など一覧

- 本文に載せることができなかった原稿や、追加的な内容も加えます。

(2) その他

- 増補版的意味合いも持たせ、随時追加、更新していきます(web版を中心に)。
- 何十年か後に次の諏訪形誌の出版にも生かすことができることと思われれます。
- 公民館設置のコンピュータに最新データを置き、更新できるよう便宜を図ります。
- DVDの配布方法については今後検討します。

3 諏訪形誌デジタル版をweb上で公開します。

上田マルチメディア情報センターのサーバを借用してweb上に公開する予定です。

- 意見や感想などを受け付け、必要に応じて公開していきます。
- 今後見つかる(であろう)誤植や校正ミス、記載内容に対する異論などもweb上で知らせていきます。
- web上での公開は、メンテナンス上の理由から5年間(程度)を目途とします。

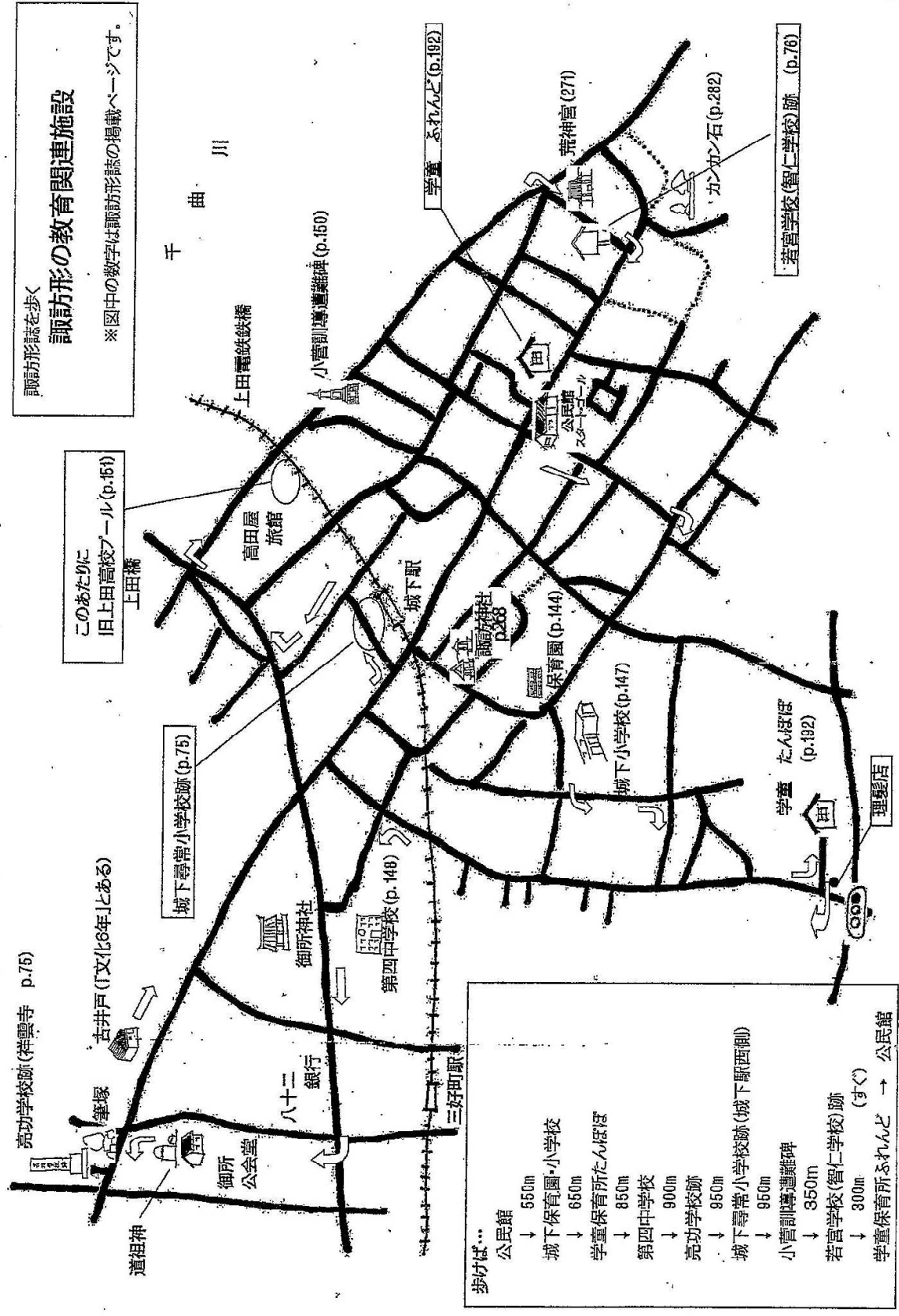
4 「諏訪形誌刊行委員会」の組織について

- 「諏訪形誌刊行委員会」は本年度末を持って解散します(既定方針)。
- 来年以降は「諏訪形まちづくり協議会」の一セクションとして活動することを考えています。
- ・名称は未定。
- ・委員会の構成メンバーは諏訪形誌刊行委員を中心に数名としたいと思います。
- ・次年度の諏訪形自治会総会に諮って承認していただき、活動していく予定です。

4 「諏訪形誌」の活用について

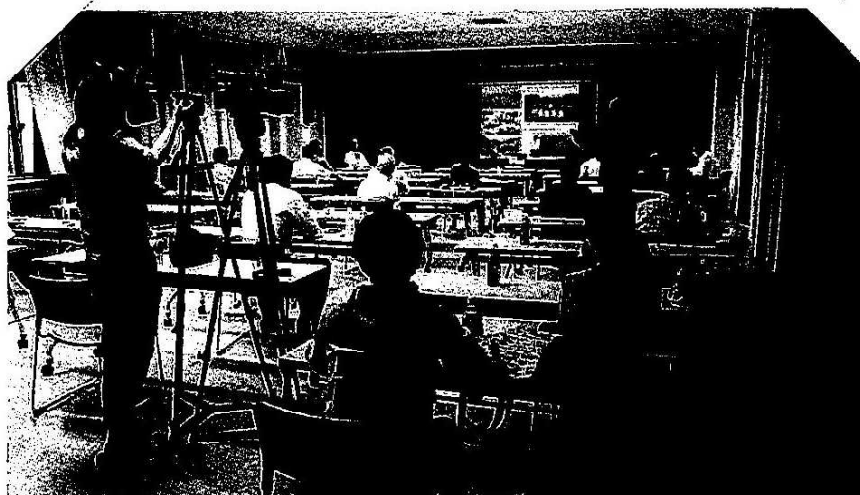
- 「諏訪形まちづくり協議会」の中に作られる「名称未定の会」で計画し実施していきます。
- 現時点で具体的には以下のような活動が考えられます。
- ・「諏訪形誌」をベースとした講演会
- ・北沢委員長らの講演と「諏訪形誌を歩く」による実際のウォーキングをセットにした行事
- ・交流親睦会など自治会主催行事や公民館行事などへの位置づけ
- ・友好自治会(真田自治会、伊那市西春近諏訪形区)との交流への活用
- ・ウォーキングマップ「諏訪形誌を歩く」の周知方法や配布方法などについての検討

「諏訪形誌を歩く」ウォーキングマップ (例)



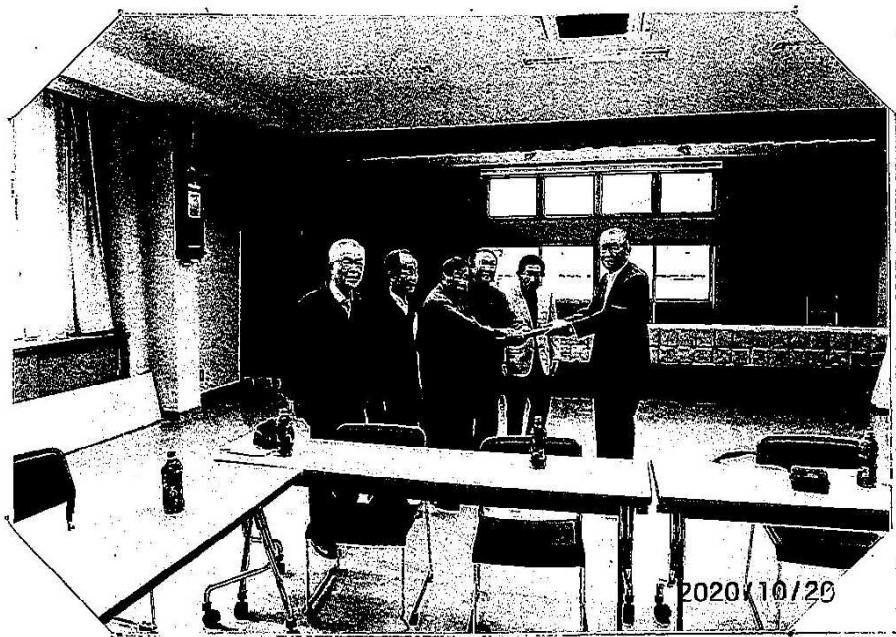
令和2年度 諏訪形誌刊行委員会 活動写真

- ・令和2年度 諏訪形誌刊行委員会 総会後の講演会 6月21日（日）・・・2枚共
- ・演 題：「諏訪形と千曲川左岸地域の歴史について」
- ・講 師：上田市立博物館 館長 滝澤 正幸 様



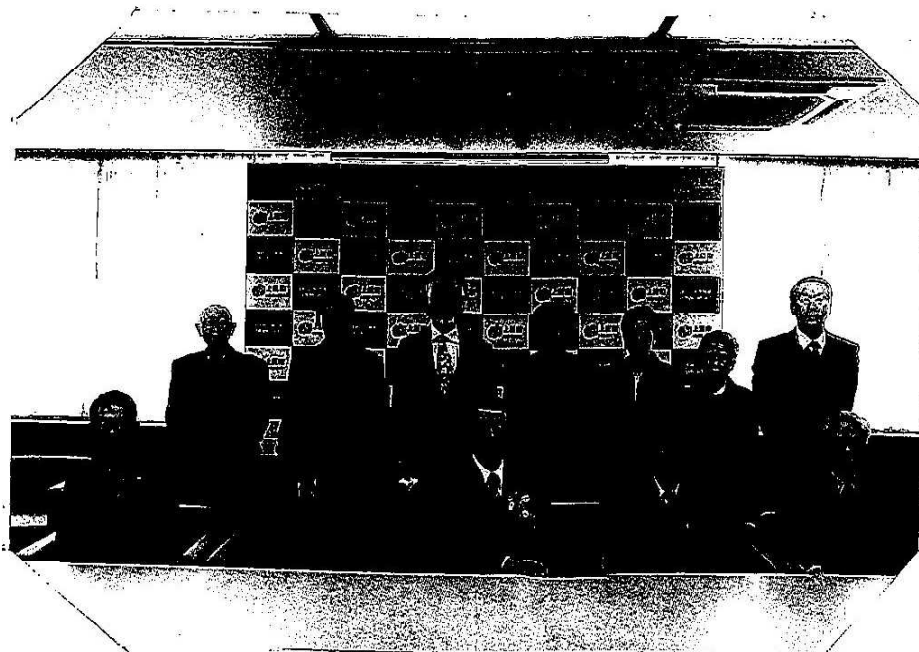
令和2年度 諏訪形誌刊行委員会 活動写真

・ 令和2年10月20日諏訪形誌 納入・受け入れ式・・・(上下2枚共)



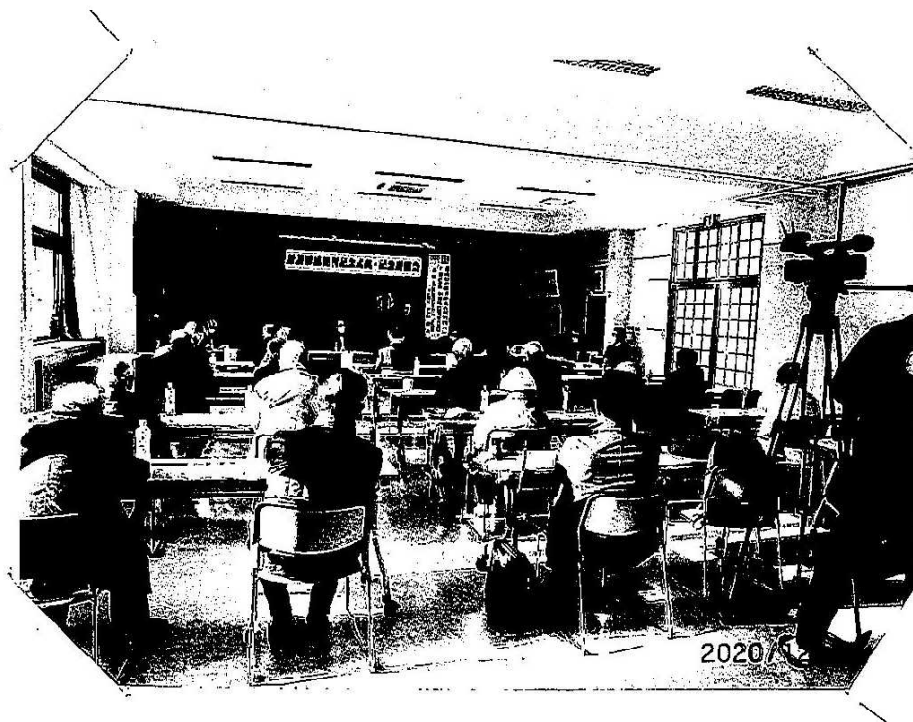
令和2年度 諏訪形誌刊行委員会 活動写真

・11月28日（木）土屋市長訪問 諏訪形誌 発刊報告・・・（上下2枚共）



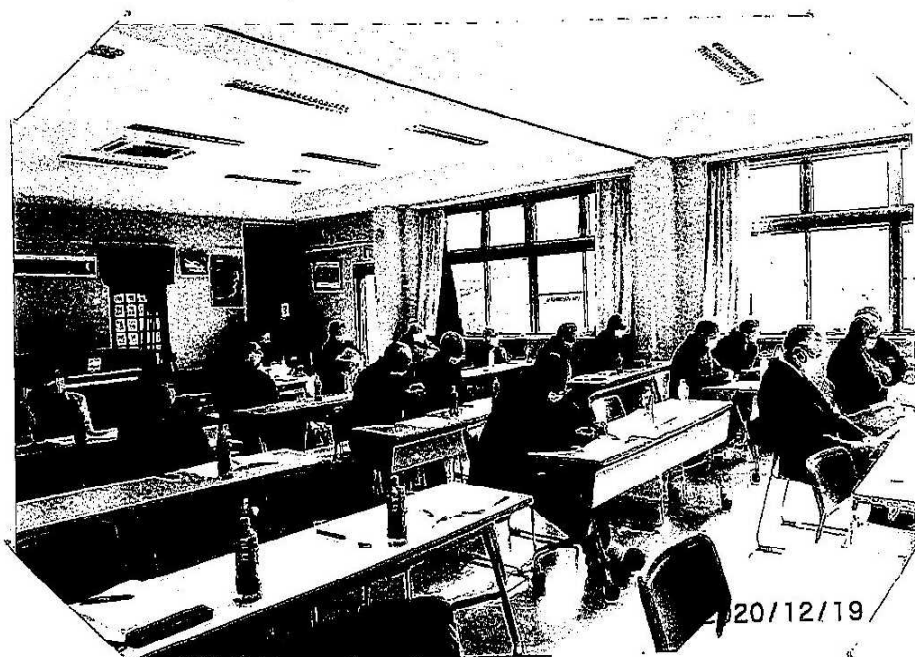
令和2年度 諏訪形誌刊行委員会 活動写真

- ・ 12月19日（土）諏訪形誌発刊記念式典及び記念講演会
（写真・・上下共 記念式典）



令和2年度 諏訪形誌刊行委員会 活動写真

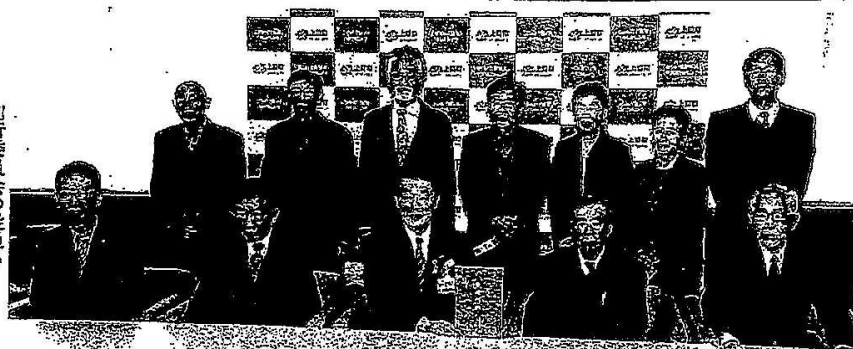
- ・ 12月19日（土）諏訪形誌発刊記念式典及び記念講演会
（写真・・・上下共 記念講演会）



上田 市
諏訪形自治会

諏訪形誌が完成

上田市諏訪形自治会の「諏訪形誌」がこのほど完成し、11月26日に関係者が上田市役所を訪れ、上田陽一市長に贈呈と報告を行った。地域の歴史を残して活用しようと、諏訪形誌刊行委員会（北沢伴康委員長、74人）が平成28年から5年かけて完成させた。



刊行委員会の役員ら

まちづくりに活用 DVD版、ウェブ版も



制作中のDVD版などの解説



完成した諏訪形誌

制作中のDVD版などの解説
訪形誌の誕生、災害など。第8章「文化と伝承」では、水天宮、徳本の「名号碑」俗称「カンカン石」

完成した諏訪形誌
張、六ヶ村、聖土地改良区、県企業局上田水道局土田水道管理事務所、霊園、渡し舟、別所線、「諏訪形讃歌」

諏訪形誌は全314ページ。表紙題字は南角衛男さん。
第1章「自然」では北緯36度40分、東経138度20分など座標から1700万年前の地層や気象など。第2章「歴史時代から古墳時代」では各遺跡や古墳、念碑、女性消防クラブ、作家・里見弴、六ヶ村、聖土地改良区、県企業局上田水道局土田水道管理事務所、霊園、渡し舟、別所線、「諏訪形讃歌」の誕生、災害など。第8章「文化と伝承」では、水天宮、徳本の「名号碑」俗称「カンカン石」

刊行委員会では、市のがまら魅力アップ応援事業を活用、諏訪形誌だけでなく、諏訪形自治会内の史跡説明看板も3カ所製作した。
第3章「奈良時代から平安時代」では、須波郷と県、東山道、奈良の遺構、今井四郎兼平。第4章「鎌倉時代から戦国時代」では諏訪の藩政、諏訪形村の成立など。第5章「江戸時代」では農民のくらしなど。第6章「近代」では、城下村の成立、千曲川堤防護岸工事、北越戦争と諏訪形、上田市との合併、尋常小学校の移転、太平洋戦争など。第7章「現代」では、生活や農林業、つげば漁、田原の採掘、小宮訓導列職記、念碑、女性消防クラブ、作家・里見弴、六ヶ村、聖土地改良区、県企業局上田水道局土田水道管理事務所、霊園、渡し舟、別所線、「諏訪形讃歌」の誕生、災害など。第8章「文化と伝承」では、水天宮、徳本の「名号碑」俗称「カンカン石」

版の制作についても報告し、制作中の画像を紹介。年度内に完成する予定。

令和2年 12月 1日
東信ジャーナル

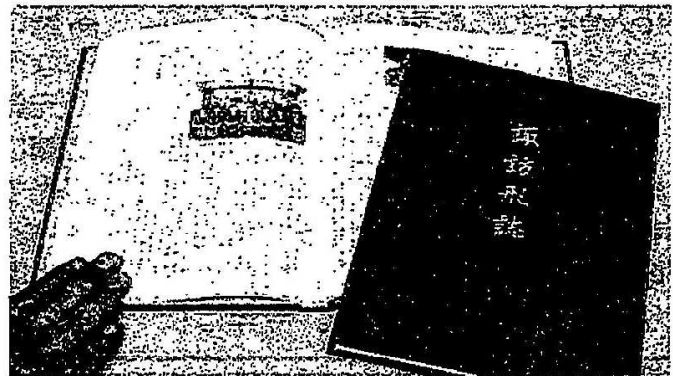
令和2年 12月 2日
信濃毎日新聞

上田・諏訪形の歴史後世に

住民、5年かけ書籍を刊行

上田市諏訪形の住民が地元
の歴史を後世に伝えようと、
「諏訪形誌」を刊行した。70
人余が刊行委員会に加わり、
5年ほどかけて製作。土地や

気象の特徴に始まり、縄文時
代から現代までの歴史を30
0ページにまとめた。本年度中
にもウェブ版を公開する。
戦国時代の章では、諏訪形
の名称が「歴史上で初めてお
目見えした」とする史料を紹
介。武田信玄が伊勢山地域に
あつた砥石城を攻めた155
0（天文19）年、仕えていた
真田幸隆に攻略の褒賞として
諏訪形の土地などを与える
と伝えた文書という。



近代では1868～69年の
戊辰戦争で、諏訪形の農民が
新政府軍側に従軍したことを
掲載。刊行委員長の北沢伴康
さん(87)は「地元こんな歴

5年ほどかけてまとめた「諏
訪形誌」

史があつたなんて知らなかつ
た」と話す。

委員は歴史、戦争、養蚕な
ど「さまざまな分野で地元を
知る人が携わった」と北沢さ
ん。コラムもあり、戦中戦後
の食料事情については「養蚕
農家はドキョウと呼んださな
ぎを鍋でいって食べた。大切
な食料だった」との証言を盛
り込んだ。

市補助金200万円を活用
し、750冊印刷。自治会の
全戸に配布した。